

# 動物取扱業の危機管理

～ 自助と共助を考えてみましょう～



講師 平井潤子

特定非営利活動法人アナイス 理事長

公益社団法人東京都獣医師会 顧問

公益社団法人日本獣医師会 危機管理室 統括補佐

# 講師 自己紹介

人と動物の防災を考える市民ネットワーク

特定非営利活動法人アナイス 平井潤子です。

2001年にNPOアナイスの活動を開始し、今年で23年目。

動物防災に関する国（環境省）や地方自治体のガイドライン作成・広域支援訓練、被災地での調査・救援活動等に従事してきました。

## ■活動歴

三宅島噴火災害（2000年）・新潟県中越大震（2004年）・福岡県西方沖地震（2005年）  
能登半島地震（2007年）・新潟県中越沖地震（2007年）・岩手宮城内陸地震（2008年）  
東日本大震災（2011年）・長野県北部地震（2011年）・伊豆大島台風26号（2013年）  
熊本地震（2016年）・西日本豪雨災害（2018年）・令和元年東日本台風（2019年）  
福島県沖地震（2021年）・能登半島地震（2024年）など



「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」作成委員（環境省）

「人とペットの災害対策ガイドライン」作成委員（環境省）

「人とペットの災害対策ガイドライン ボランティアの活動と規範」作成委員（環境省）

「被災ペット救護施設運営の手引き」作成委員（環境省）

「熊本地震における被災動物対応記録集」作成委員（環境省）

「ペット防災BOOK」（東京都獣医師会）

「決定版 猫と一緒に生き残る 防災BOOK」「決定版 犬と一緒に生き残る防災BOOK」監修（辰巳出版）

「ねことわたしの防災ハンドブック」「いぬとわたしの防災ハンドブック」監修（PARCO出版）

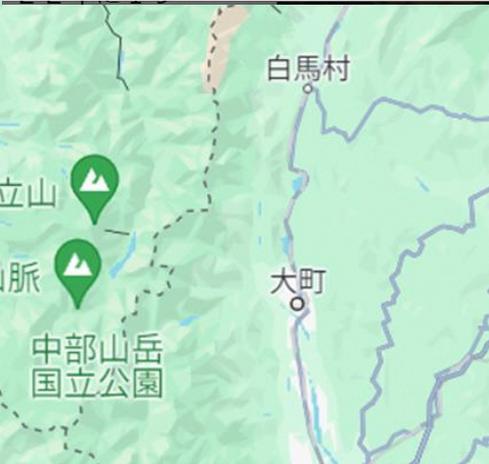
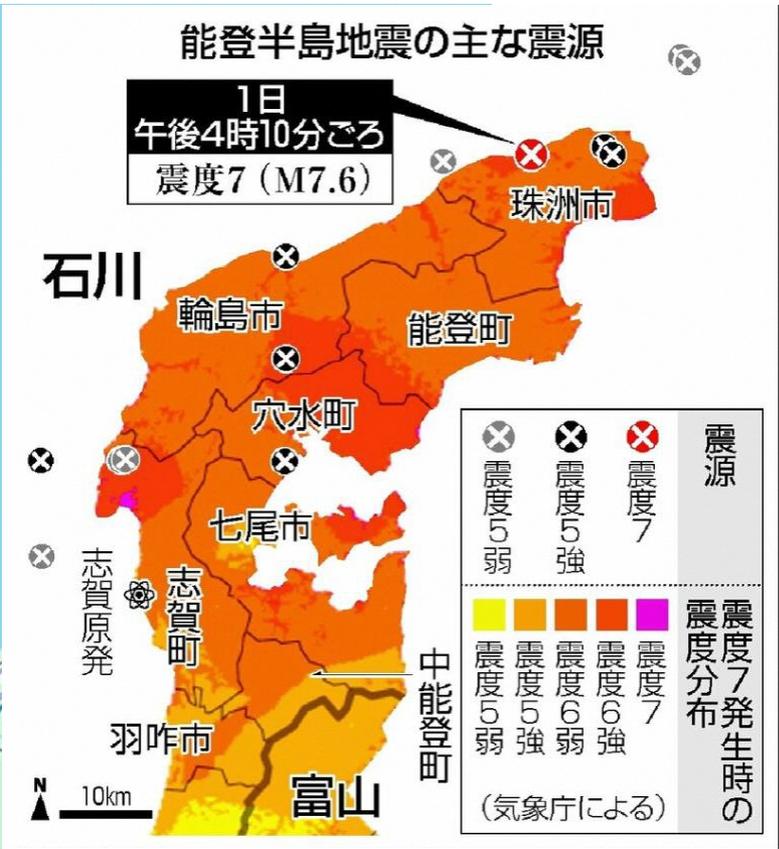
「ペット防災の基本BOOK いっしょに逃げてもいいのかな？」監修（LEONIMAL） など



# 令和6年能登半島地震・豪雨災害



この震災で被害に遭われた多くの人と動物たちを思い、  
心からお見舞い申し上げますとともに、  
一日も早く能登の穏やかな生活に戻られますよう祈念しています。



## 大規模災害が発生した際の課題

「災害対策本部」を設置せねばならないほど  
甚大な災害が発生した場合

- ・ 基礎自治体に被害が出ていないか
- ・ 獣医師会に被害が出ていないか
- ・ 動物病院に被害が出ていないか
- ・ ボランティアが被災していないか
- ・ 協力団体や組織が被災していないか

**近隣の自治体や  
組織との連携**

# 能登半島地震での避難生活の一例

- ペットは避難所に入れたの？
- 入れなかったの？

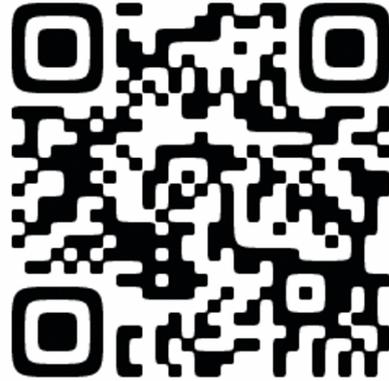
- 避難所に入れた
- 入れなかった
- 室内同居できた
- 車で生活した
- 壊れた自宅で生活した
- ペットを預けて避難所に入った
- ペットを自宅に残し避難所に入った 様々

## 車・自宅避難を選ぶ理由の一つ

- ・避難所でペットが受け入れられなかった
- ・ハウス（ケージ）を利用したことがない
- ・いつも一緒にいたい
- ・吠えてしまうので周囲に迷惑  
周りへの気兼ね

- ・自宅の盗難が心配
- ・プライバシーが欲しい
- ・知り合いと一緒にいたい

NHK ステラ net



富山県高岡市から避難

今年1月の能登半島地震で、

当時住んでいた氷見市の自宅が準半壊。

母親と2頭の犬、2羽のインコを連れて

各地の避難先を転々としました。

身を寄せた施設は8か所。

9か所目でようやく高岡市の住宅に落ち着きました。

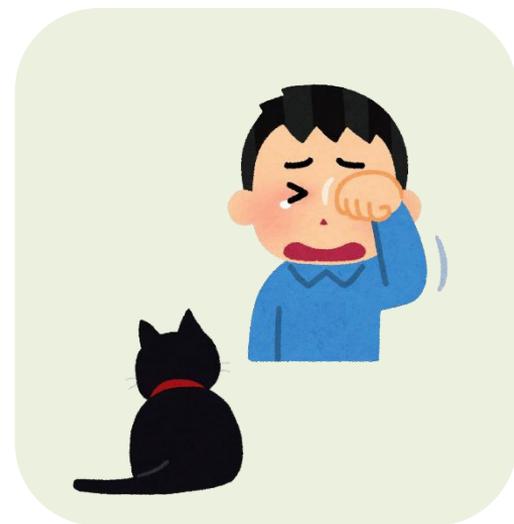
ペットとの避難の日々は45日間に及びました。

# 避難生活の中でニーズが変わってくる

## 「時間がたつと変化する」

避難所では  
飼い主とペットが同室で生活できることが  
最善のように思えますが、  
避難所にはペットの苦手な人や  
アレルギーがある人、  
高齢者や病気治療中の人も避難しています。

馴れない環境にペットも神経質になっていて、  
夜中に誰かがトイレに立ったり、寝返りをうつたびに、  
犬が吠えてしまうことが、周辺の人にとっても、  
飼い主にとってもストレスになってしまいます。



# 避難生活の中でニーズが変わってくる

また、避難生活が始まると、  
職場に出掛けたり、  
壊れた自宅を片付けに行くといった、  
避難所から外出する時間がでてきます。



しかし、ペットだけを避難所に残していくのは心配です。

飼い主以外の立入りが制限された、  
共同の飼育スペースにペットを集め、  
飼い主同士が協力しあい  
ペットの様子を見守るという  
ニーズが出てくるのです。



# 研修第1部

## 自分たちの備えを考えてみましょう

### グループディスカッション

- 1) ペットショップまたはペットカフェ、等  
生体を販売する、または展示する  
かつ、施設に来訪者がいる
- 2) トリミングサロン、ホテル、訓練、  
ペットシッター等  
お客様から生体を預かる
- 3) ブリーダー 等  
多数の生体を管理している

業 態		生体を販売・展示する 生体がいる場所に飼い主や 来客がある	生体を預かる 飼い主がその場にはいない	妊娠中、出産直後の犬猫が いる 犬猫以外の生体もいる 飼い主からの預かりもある	飼い主宅に訪問する 飼い主が不在の場合もある
業 種		ペットショップ・ ペットカフェなど	トリミングサロン・ ホテル・訓練など	ブリーダーなど	ペットシッター・ しつけ訪問
発 災 に 対 す る 対 策  店 舗 や 施 設 と 取 り 扱 う 動 物	①	店舗や施設があるか？	シートに記入		
	②	場所の確認	自己紹介をしつつ、マップに営業拠点をマーク		
	③	自宅兼か否か	シートに記入		
	④	自宅と店舗などが別の場合は、自宅から店舗や施設までの距離と交通手段、時間	自宅と店舗施設が異なる場合は、参加者の意思でマップ上に追記 それ以外はシートに記入		
	⑤	各々の場所のハザードマップを確認しているか？	シートに記入		
	⑥	想定される被害は確認しているか？	シートに記入		
	⑦	取り扱う動物の所有権は？	シートに記入		
	⑧	建物や設備に災害対策を講じているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震補強（建物全体・動物がいる場所・来客画ある場所など）</li> <li>・什器備品の転倒や移動の防止（重量がある・高温になる・キャスターがついていて室内を移動）</li> <li>・避難経路をふさがない対策（ドアの開閉の向きに対する商品の陳列方法・位置・商品の種類による配置）</li> <li>・ガラスの飛散対策（照明・窓・ショーウィンドウ・家具のガラス・食器・取扱商品など）</li> <li>・建物などに対する災害に関する保険に加入しているか</li> </ul>		
	⑨	生体を扱っている場合 飼育に必要な備蓄はできているか？	シートに記入		
	⑩	生体を扱っている場合 生体の避難先が複数か所確保できているか？	シートに記入		
	⑪	避難する場合の搬送手段は考えているか？	搬送するためのケージやキャリー・車・その他など シートに記入		
	⑫	同業者間でできる共助は？	シートに記入		

店舗や施設にいる人の避難	①	施設に防災管理者・防火管理者がいるか？	シートに記入
	②	発災時の対応が話し合われているか？	避難経路・来客の誘導・動物への対応（預かり中・施術中・販売中など） シートに記入
	③	役割分担ができているか？	スタッフ・来客・動物への対応 シートに記入
	④	避難訓練を実施しているか？	シートに記入
	⑤	預かりの場合、飼い主に発災時の対応について説明してあるか？	説明内容など シートに記入
	⑥	預かりの場合、飼い主に発災時の免責事項について書面で取り交わしているか？	シートに記入
	⑦	預かりの場合、飼い主以外に動物に関し判断を仰げる緊急連絡先を確認しているか？	シートに記入

事業継続計画	①	被災後の休業時に収入が途絶えることを想定した対策を講じているか？	シートに記入
	②①	スタッフに対する給与などの補償は検討しているか？	自身等の災害により事業場の施設や設備が直接的な被害を受け、その結果として労働者を休業させる場合は、原則として使用者の責に帰すべき事由には該当しない。 労働者の就労が可能な状況において、使用者の判断で休業した場合は、原則として使用者は平均賃金の100分の60以上の休業手当を支払う必要があることとなる。
	②②	業務請負中の代金請求について検討しているか？	シートに記入
	②③	スタッフの避難時の生活用品を備蓄しているか？	シートに記入

家族の安全確保	②4	家族各々の発災時の行動について、対策はできているか？	保育園・学校・デイケアサービス・老人ホーム・自宅・勤務先 どう対応するか シートに記入
	②5	連絡が取れない場合の行動について申し合わせているか？	例) 家族 A は店舗に残るので、自宅にいる家族 B が自宅家族の避難の判断を行うなど シートに記入
	②6	連絡方法を決めているか？	例) 災害番号ダイヤル 親戚宅 貼り紙など シートに記入
	②7	自宅以外の待ち合わせ場所をきめているか？	シートに記入
	②8	自宅の災害対策を講じているか？	シートに記入
	②9	自宅の地震保険や火災保険には加入しているか？	シートに記入
	③0	家族の生活用品の備蓄はできているか？	シートに記入
	③1	家族の避難場所を複数確保できているか？	避難所・親戚・実家・知人・宿泊施設など シートに記入

**チェックシートで、できていない項目に取り組んでみる**

**同業者同士の協力を考えてみる**

# 自分たちの立場を守る

自分（会社）が、どのような災害対策を行っているかを、顧客に伝える。

対策を伝えることが、信頼関係につながる。

**NG！ 対策を講じず、**

**「守れなかったけど災害だから許してね」**

お客様各位

いつも当店をご利用いただき、  
ありがとうございます。

私共は大規模災害に備えて、  
お客様からお預かりしている動物を守る  
ために、次のような対策をとっています。

## ◆建物や立地の見直し

- ・店舗の耐震構造の見直しを行い、震度〇の地震に耐える構造であることを確認しています。
- ・店舗（施設）内の陳列台などの設備を固定し、万が一大きな揺れが生じても、店舗内（施設内）のお客様や動物たちが被害を受けないよう耐震対策を行っています。

## ◆建物や立地の見直し

- ・店舗内照明や窓ガラス、陳列ケースのガラスが壊れ、店舗内（施設内）にいるお客様や動物たちが被害を受けないように、ガラスの飛散防止対策を行っています。
- ・特に動物たちがいるスペースは、ケージを固定することで転倒を防ぎ、倒れかかって危険が生じるような物を置かないようにしています。

## ◆スタッフの心構えや準備

- お客様を誘導し避難する経路の確認や、動物たちを無事に避難させるために、定期的に避難訓練を行っています。
- 防火管理者を置き、研修を受け、消火に必要な備品の設置と、避難及び避難生活に必要な物品の備蓄を行っています。

## ◆スタッフの心構えや準備

- ・万が一お客様と連絡が取れない状況で避難が必要な場合には、動物たちを同行し避難いたします。電話、インターネット等が繋がらない場合には、店舗に連絡事項を掲示いたします。当店からおお客様にご連絡を取る努力をいたしますが、皆様からもご連絡をいただきますようお願いいたします。

**(当店緊急連絡先   〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇)**

## ◆ 大切なお願い ◆

当店では災害対策として様々な準備を行っておりますが、災害の規模や被害状況により、店舗内のお客様や従業員など、人命に関わる事態が生じた場合には、店舗内の動物たちを守り切れない状況も起こりうると想定されます。

**そのような事態に陥らないよう最大限の努力を行いますが、人命優先に伴う不可抗力の事態につきましてはご容赦下さいますようお願いいたします。**

## Pet Salon ANICE 災害対応のお知らせ

### お客様各位

いつも当店をご利用いただき、ありがとうございます。

私共は大規模災害に備えて、お客様からお預かりしている動物を守るために、次のような対策をとっています。

#### ◆ 建物や立地の見直し

- ・店舗の耐震構造の見直しを行い、震度〇の地震に耐える構造であることを確認しています。
- ・店舗（施設）内の陳列台などの設備を固定し、万が一大きな揺れが生じて、店舗内（施設内）にいるお客様や動物たちが被害を受けないように耐震対策を行っています。
- ・天井の照明や窓ガラス、陳列ケースのガラスが壊れ、店舗内（施設内）にいるお客様や動物たちが被害を受けないように、ガラスの飛散防止対策を行っています。
- ・特に動物たちがいるスペースは、ケージを固定することで転倒を防ぎ、倒れかかって危険が生じるような物を置かないようにしています。
- ・動物のいるスペースの周りに堅固な家具を配置し固定することで、動物たちの生存空間※を確保する工夫をしています。

#### ※生存空間とは

人の就寝場所や動物の飼育スペースの周りに堅固な家具を配置し、それを固定することで、大きな地震により家屋が倒壊した際に、固定した家具が支えになってできる隙間で、そこにいる人や動物が生き延びる可能性となることから「生存空間」と言います。

#### ◆ スタッフの心構えや準備

- ・お客様を誘導し避難する経路の確認や、動物たちを無事に避難させるために、定期的に避難訓練を行っています。
- ・防火管理者を置き、研修を受け、消火に必要な備品の設置と、避難及び避難生活に必要な物品の備蓄を行っています。
- ・万が一お客様と連絡が取れない状況で避難が必要な場合には、動物たちを同行し避難いたします。電話、インターネット等が繋がらない場合には、店舗正面にご連絡事項を掲示いたします。当店からお客様にご連絡を取る努力をいたしますが、皆様からもご連絡をいただきますようお願いいたします。（当店緊急連絡先 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇）

#### ◆ 大切なお願い◆

当店では災害対策として様々な準備を行っておりますが、災害の規模や被害状況により、店舗内のお客様や従業員など、人命に関わる事態が生じた場合には、店舗内の動物たちを守り切れない状況も起こりうると想定されます。

そのような事態に陥らないよう最大限の努力を行いますが、人命優先に伴う不可抗力の事態につきましてはご容赦下さいますようお願いいたします。

## 研修第2部

避難所運営ゲームに取り組んでいただき  
プロとしての助言や提案を

# 避難所運営ゲーム ペット同行避難版

## 避難所 H 運営 U ゲーム G

「避難所(H)運営(U)ゲーム(G)」をベースとした

「避難所ペット飼育版ゲーム」では、被災者対応で混乱する

避難所運営において、ペット飼育者への対応の負担を

軽減するために、飼い主同士で協力し助け合い、

避難所内でのペット飼育環境を整えていくことを目指します。

このゲームのベースになる「**避難所(H)運営(U)ゲーム(G)**」は、避難所で起き得る状況の理解と適切な対応を学ぶことを目的に、一般住民向向け普及啓発ツールとして**静岡県**で開発された**シミュレーション型訓練ゲーム**です。

1グループ5～6名で構成されたチームが、『避難所運営を任された』という想定の下、次々にやってくる避難者の状況や要望を考慮しながら、迅速かつ適切に対応することをワークショップ形式で体験していきます。

ゲームで使用する**250枚のカード**には、避難者の年齢、性別、国籍や、それぞれが抱える事情、状況などのステータスが記されているカードと、避難所で起こる出来事が記されているカードがあります。



## Cさんのウサギ

1歳・雌、  
繁殖制限済み、  
室内飼育、  
キャリーバッグあり



## Eさんの猫

2歳・雄、  
繁殖制限なし、  
室内外自由飼育、



## Dさん 20歳代

男性・大学生、  
イグアナと、  
避難してきた、



## Eさんの猫

1歳・雄、  
繁殖制限なし、  
室内外自由飼育、



## Dさんのイグアナ

グリーンイグアナ、  
成獣・性別不明、  
プラスチックの、  
飼育ケースに、  
入っている、



## Eさんのダックスフント

6歳・雄、  
繁殖制限なし、  
首輪のみ



## Eさん 50歳代

女性・一人暮らし、  
体調不良を訴えている、  
猫や犬、  
合計9頭と、  
避難してきた、



## Eさんのダックスフント

3歳・雄、  
繁殖制限なし、  
首輪のみ、



## Eさんの猫

4歳・雄、  
繁殖制限なし、  
室内外自由飼育、



## Eさんのダックスフント

2歳・雄、  
繁殖制限なし、  
首輪のみ



## Eさんのダックスフント

1歳・雄、  
繁殖制限なし、  
首輪のみ



## Gさん 夫 70歳代 (夫婦)

妻・柴犬と避難してきた、



## Eさんのダックスフント

4歳・雌、  
繁殖制限なし、  
首輪のみ、



## Gさん 妻 70歳代 (夫婦)

夫・柴犬と避難してきた、



## Eさんのダックスフント

2歳・雌、  
繁殖制限なし、  
首輪のみ、



## Gさんの柴犬

成犬・雄、  
未去勢・屋外繋留飼育、  
他の犬に吠える、  
首輪、  
ハーネスタイブリード



## Fさん 80歳代

女性・一人暮らし、  
猫と避難してきた、



## Hさん 妻 30歳代 (家族)

生後6か月の赤ちゃんと、  
プードルと一緒に、  
避難してきた、  
勤務先にいる夫と、  
連絡がつかない、



## Fさんの猫

老猫1頭・雄、  
腎機能不全・要介護、  
繁殖制限済み、  
室内外自由飼育、  
キャリーバッグあり、



## Hさんのプードル

6歳・雄、  
未去勢・室内飼育、  
首輪・リード



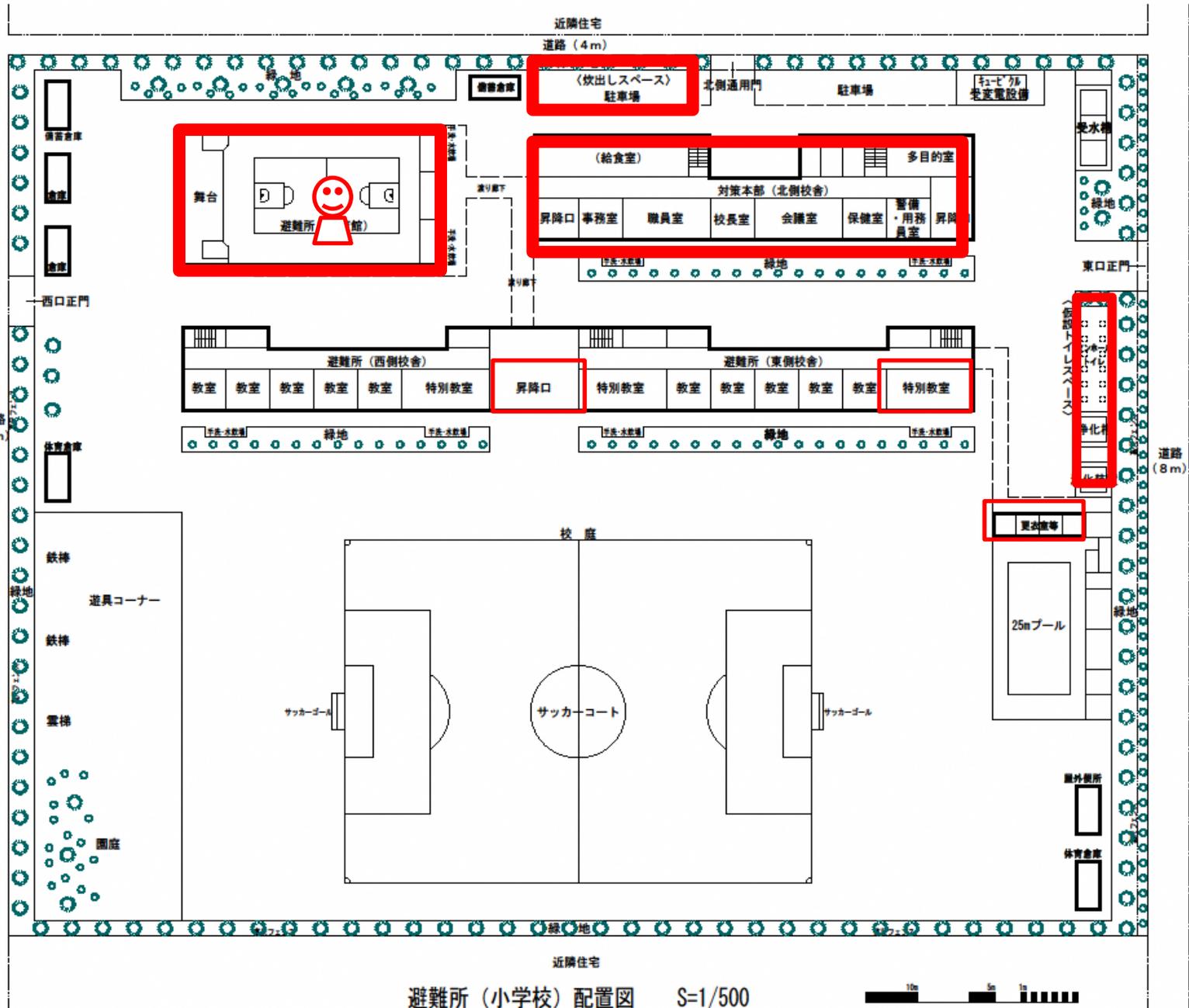
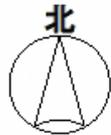
**最初に、避難所運営本部の方 1名 選出**

**避難所運営本部の方が進行役**

**(カードをめくる役) ですが、**

**ゲームには参加して一緒に考えてください。**

**今日が一番誕生日に近い方**



避難所（小学校）配置図 S=1/500



**ペット飼育スペースが決まったら、お手元のA3の図面にマークしてください。**

**「A4の用紙」をペット飼育スペースに見立ててお手伝いいただく人やペットの配置を考え、カードを置いていきます。**

**注意書きを掲示する場合には、ポストイットをポスターに見立てて、必要な場所に貼ってください。**

**イベントへの対応策はポストイットに書いてカードに貼ってください。**



# 状況設定

発災日時 : 休日 15時

災害規模 : 最大震度6強 断続的に強い余震が発生

古い一戸建て住宅等が倒壊・損壊

津波や大規模な火災の発生はない

天候 : 4月・晴れている

状況1 : 避難所

発災から約1時間後 午後16時過ぎ

次々と住民が避難してくる

状況2 : 避難所運営本部 立ち上げ済み

ペット同行者を受け入れることが決まっているが

詳細は決められていない

状況3 : 断水・停電・電話が繋がらない

避難所に備え付けの防災無線は通じている

**ではゲームを開始しましょう！**

# ふりかえり

**約30分で  
10組のご家族に対応いただきました。**

- ペット飼育スペース
- 工夫したこと
- 共助（飼い主同志の協力）について
- 苦情への対応
  
- これさえあれば！  
    **ショップで提供できるもの**
- これさえできていたら！  
    **しつけやトレーニング**
  
- 盲導犬への対応
- 迷子犬への対応
- 預かって、という依頼への対応
- どうしても一緒にいたい、という方への対応

- **盲導犬はペット同行避難ではない**
- **自分たちでやってみよう！とすすめる**
- **避難所以外の場所にも目を向けよう**
- **ビニールひもを編み、首輪や胴輪を作ってみよう！**
- **メンバーで役割を分担**
- **避難者にも役割を**
  - ペットシッターさんや若者の役割**
  - 高齢者の役割**
- **頭数の確認**
- **情報の管理**
- **排泄場所のルール**

# 大切なことは

どのように避難所で暮らすのか？

支援を受けるだけの被災者  
or

支援活動に携わる被災者

自分の生活を立て直すために  
自ら動き始める

自分の住む街を自分たちの力で  
協力して復興していく、という気持ちで



# 大切なことは

家族の一員であるペットを守るために  
「**飼い主力**」を高めることが、  
「**防災力**」を高め、  
あなたと  
家族と  
地域を  
守っていくこと。

